

4 - 2 魚類

平成8年度に実施した河川水辺の国勢調査の結果、池田ダムより下流では、淡水魚26種、回遊魚13種及び汽水・海産魚45種、合計84種の魚類が確認されました。

調査は、夏季及び秋季に実施しました。

確認された魚類の半数以上は、河口域～下流域で確認されているスズキ、ボラ等の汽水・海水魚です。淡水域ではオイカワ、カワムツB型及びニゴイ類等が優占しています。回遊魚としては、アユ、ヨシノボリ類（シマヨシノボリ、オオシノボリ、カワヨシノボリ）等が確認されました。

注目すべきものとしては、吉野川河口付近や下流域（河口～柿原堰）において、回遊魚であるサツキマス、カマキリが、第十堰より下流の汽水域ではハゼ科のタビラクチ、エドハゼ、チクゼンハゼ、ヒメハゼ、ヒナハゼ、アベハゼが確認されています。純淡水魚ではアカザが、吉野川本川の脇町潜水橋付近と青石橋付近で、イチモンジタナゴ、メダカが第十堰から柿原堰の区間で確認されています。

